

鈴鹿市人権擁護に関する審議会 令和6年度第2回会議 議事概要

【日 時】 令和7年3月19日（水） 午後2時から午後4時まで

【場 所】 鈴鹿市役所 本館12階 1204会議室

【出席委員】 伊藤 裕、冨本 真理子、岩間 啓悟、安村 とみ子、
喜田 園子、田中 治尋、中野 千鶴子、吉原 勝範、
南川 久美子（9名）
（欠席）山中 秀志

【事務局】 地域振興部長 竹下 直哉

地域振興部次長 新田 剛

人権政策課長 谷本 吉隆

人権政策課 主幹兼啓発推進グループリーダー 西村 美紀

人権政策課 啓発推進グループ 西村 翔

人権政策課 啓発推進グループ 稲垣 萌子

【議事概要】

（事務局）

開会を宣言し、配付資料（事項書に記載された6点の資料）が手元に揃っているか、確認を行う。

事項1 開催にあたって

- （1）伊藤会長あいさつ
- （2）地域振興部長あいさつ
- （3）鈴鹿市人権擁護に関する審議会について、改めて説明（事務局）
また、本日の会議が委員定数の半数以上の出席を得て成立した旨を報告する。

事項2 議事

- （1）令和6年度人権啓発事業実施状況について

（伊藤会長）

事項書に沿って、議事を進行する。

まず、「事項2 （1） 議事 令和6年度人権啓発事業実施状況について」、事務局から説明願いたい。

（事務局）

資料1「令和6年度人権啓発事業実施状況」に沿って説明を行う。

(伊藤会長)

事務局からの説明を受け、御意見・御質問をいただきたい。

(伊藤会長)

報告書のタイトル・レイアウトが変わり、非常に見やすく、写真も効果的に使用するなど、大変苦労の後が伺える報告書であった。

ただ今の説明を受けて皆さんからのご意見、ご質問をいただきたい。

ご発言の際には、名前をおっしゃっていただきたい。

(吉原委員)

活動内容ではなく、自分の認識不足、知識不足のためにお尋ねをしたい。

1 ページの「広げよう人権尊重の輪」の2月だが、「生活保護制度と人権」について、私は先だって市議会の議員さんから声をかけていただき、傍聴に行った。それまでにも、2～3回行っているが大体、傍聴人は私1人である。ところが先だっては6人いらっしやり、テーマは生活保護だった。

質問をされたのは共産党の方だったが、私も昔は生活保護を受けられる方は、車を持っていると受けられないと聞いた記憶があった。しかし、現在は、病院に行くなどの理由で使われる場合は、車を持ってもいいということを、役所の担当の方が答弁しておられたと思う。そのための条件が病院に行くことやそれ以外はだめなのか、その辺をどういう風に見定めておられるのか。参考のために教えてほしい。

(事務局)

保護の制度については、私ども、そこまで詳しいわけではないため、ご了承いただきたい。

昨今、先程、吉原委員が言われたように、車が必要な方には使用していただきつつ、保護を受けられる方もいると聞いているが、聞いていただいた議会の答弁が今の制度のあの全てだと思う。この場でそれ以上のことを申し上げるのは、難しい。

(吉原委員)

それともう一点、念のためにご報告したいことがある。人権政策課の方に連絡させていただいたが、私は交通安全協会の方でも活動している。そこで警察の方から、10 ページの「鈴鹿警察による交通安全啓発」に、今回初めてお声がけをいただいて非常に嬉しかったとお話を聞いている。ところが、こども向けの警察官ユニフォーム着用については、他の行事と重なってしまい、今回提供できなかったことを非常に残念がって恐縮していたので、一言申し上げさせていただく。

もう一点、11 ページでは、富士電機さんが、今回パネル展示していただいたが、岩間委員が会社へお帰りになってなにか反応があったか。

(岩間委員)

会社は、自社の CSR 活動とか取り組みというものを PR できるいい機会なので、ここの組織を通じてパネル展示について紹介していただき、参画・参加させていただいたことを感謝するということを聞いている。

また、これだけの人数が見てくれたということは、すごく参考にさせてもらった。引き続き、こういう機会があれば、よろしくお願ひしたいということを伺っている。

(田中副会長)

1 つよろしいか。24 ページの新規採用職員の人権研修だが、前期研修が 45 名のうち 38 名の受講、後期研修が 45 名のうち、42 名の参加ということで、残りの不参加の方のフォローはどうなっているのか。

(事務局)

今回、欠席された方は次年度に繰り越され、受講者名簿に登録されるようになっている。

(富本委員)

市職員の研修もたくさんされているかと思うが、今一番、市役所の中で大きな関心がある人権問題というのはどういったことなのか。答えるのが難しいかもしれないが、どんな感じなのかお聞きしたい。

(事務局)

当然、仕事の上では、すべての人権について焦点を当てるということになる。組織的なことを言えば、パワハラやカスハラが問題・課題として挙がっているような状況である。それはどこの会社組織でも同じだと思う。

(富本委員)

今、パワハラやカスハラ対策の研修はされないのか。

(事務局)

それは人事課の方で行っており、管理職もすべて受けるようになっている。

(喜田委員)

資料 9 ページの「じんけんフェスタ」のことで、お伺ひしたい。12 月 14 日、15 日とあるが、この日が他の結構大きな事業と重なっており、対応を考えていた。申し訳ないが、私たち保護司会は、「じんけんフェスタ」だけでなく、市民会会議で行っている作文コンクールにも関わっていたので、14 日の午後は、保護司がそれぞれどうやって行くのかという問題があった。

一昨年ぐらいまでは、「じんけんフェスタ」の開催は 1 月だったと思う。それがこの時期

にきたのは、何か理由があるのか。これからどうされるのか。

せっかくいい事業があるのであれば、それぞれ市民の方たちに来ていただきたいと思うが、その調整はどうなっているのか。お答えしていただきたい。

(事務局)

ご指摘の通り、この日は色々な行事が重なっており、大変なご迷惑をおかけし、申し訳なかった。

人権週間が12月にあるため、その週、その月間ということでさせていただいている。会場の都合上、この日になってしまった。他のイベントについても、我々のリサーチ不足で重なってしまった部分がある。

来年度についても、12月の人権週間に合わせて行わせていただく予定である。借りる会場の日程がかなり絞られているが、他の大きなイベントとは重ならないように努力していくので、またご協力をお願いしたい。

(喜田委員)

少し付け加えてよろしいか。同じ市の中で開催するのに、日程調整みたいなことはどこかでされているのか。それとも、そういう担当の課が、自分のところで会場を頑張って取ってという形になるのか。

(事務局)

基本的に各課が会場を押さえていくので、日程が出てくるのも市民の方への周知と同時期になる。部内においては、調整は可能のため、そこは気をつけて調整をしていきたいと思う。

(喜田委員)

よろしくをお願いしたい。

(田中副会長)

鈴鹿市には部長会などがあると思うが、そこでぶつかった時の調整はできないのか。

(事務局)

部長会で報告する時は開催が決まった状態となる。そこで議論するのではなく、この日にイベント等を開催するという周知になるので、その時には、どうにもできない状態となっている。

その辺は課題といえば課題だが、時期的に何をやるというのは大体決まっているので、確認しながら進めていきたいと思っている。

ただ、人気のある月というのはあり、秋は特に多く、色々なイベントが集中することは、やむを得ない部分はあるが、なんとか避けてはいきたいと思う。

(中野委員)

7 ページの「平和への祈り展」について、この時に自分の仕事でここを見に行くことができなかったのだが、1 年前のイベントで意見を言わせていただいたことを覚えている。特攻隊員の最後の思いをしたためた辞世の句が、ちゃんと読むと心に響くような、色々と思わせられる、いい展示だったが、出入口のそばにあったので、展示の仕方とか工夫について意見を言わせていただいた。そのため、今年はどうなっていたのか、なにか工夫していただいたのか聞かせていただきたい。

(事務局)

ご指摘いただいた通り、出入口の横に去年は展示していたので、今年度は、動線上の皆さんの目に留まるところに、パネルパーテーションを置いて展示をさせていただき、多くの方にも見ていただいた。

今後も展示する際は、同じ場所、もしくはもっと目立つところに、展示していこうと思っている。

(中野委員)

写真だけで見ると、お話を聞いて見える方もたくさんいらっしゃって、よかったのだろうということは伝わってくる。

もう一点、10 ページの(c)の「簡単おもてなしブラジル料理！」と書いてある講座について、協会でも国際理解につながる料理講座とか、セミナーは頻繁に行っている。

その時にすごく気をつけているのが、単にお客様が外国の料理の作り方だけを覚えにくるのではなく、本来の目的である「人権として行う料理講座」として、何か工夫をされたのか。

(事務局)

当日、市民対話課職員が付き添って行った事業であり、料理の最初に、その国のことをお伝えいただいたということを、市民対話課の職員からも聞いている。

ただ料理教室をして終わりではなかったと聞いている。

(中野委員)

そういうところが大事だと思うので、この料理講座だけではなく、人権ということを目的に行う他のイベントの場合、お客様がそういうところの視点に気づくとか、「あ、こういう問題を抱えてみえるんやな」って気づいたり、文化などの違いで興味を持ったり、よりその橋渡しになるように開催していただきたい。くれぐれも「ただそれをやって終わり」というのではなく、なぜこれをやっているかという目的を忘れないようなイベントをしたほうがいいと思う。

私も少し見に行ったが、もう始まってしまっていたため、先生は料理自体を上手に教えられており、その肝心なところの説明の場面が見られなかったので、確認させていただいた。また市民対話課さんの方に聞かせていただく。

(安村委員)

「じんけんフェスタ」のPRを、民生委員の三役会や役員会に西村さんが来てくださり、「全く知らなかった」という役員もたくさんいたが、参加した委員さんもいてくださり、とても良かったと思う。また民生委員の方にもPRしてほしい。

(喜田委員)

「平和の祈り展」について、いわさき ちひろさんの時は1,000人以上で、2023年は参加者が376人、葉さんの場合は少し多かったということで、波がある。認知度のある方にお願ひした場合では、人がいらっしゃるということがこれ見えていた。思った。

今からの話だが、令和7年度は何かそういう意味で、皆さんのところで、この人がというお話って出ているのか。それともこれから候補を考えるのか。

この「平和の祈り展」をどうするか、1つの目玉として、いわさき ちひろさんや葉さんの複製原画が出ているが、アニメの方の展示をした時があったと思う。名前を忘れたが、あの方の時は大変良かったと思うが、人が少なかったような気がする。来ていただいた方は、とても感銘してみえたが、その辺はどのように考えているのかを伺いたい。

(事務局)

確かにおっしゃる通り、絵本の複製原画展などは人気高く、来場者も多いような状況になっている。

ただ、毎年、絵本というのではなく、色々な角度のものを展示するようにはしている。

来年については、戦後80年、人権尊重都市宣言40周年ということで、規模を拡大し、展示だけではなく、映画上映もセットで実施することを考えている。詳細については、また次の審議会の中で、皆様にご提示させていただき、ご意見をいただくことになるかと思う。ただいま検討中である。

(田中副会長)

今回の小学生、中学生の3人の作文と、その後の佐久間レイさんの講演会。来場者が少し少なかったような気がして、残念だった。内容が結構良くて、もう少し工夫できなかったかなというのが1つ。それから、さつきプラザの展示は結構人が入っていたが、2階の第一研修室の市の展示が、少し人が少なくて残念だった。終わったあと、みんな帰られた感じで見に行かれる方が少なかった。もう少し工夫ができたのではないかという気がしている。場所が2階に上がってからの市の方の展示は少し残念だった。

(事務局)

佐久間レイさんについて、来場者の方から大変絶賛され、「本当にもっとみんな聞いたらいいのに」という声が多くあった。こちらもアンパンマンの声優の方のため、みんな知っていて結構来てくれるのではないかという甘えもあり、そこは申し訳なかった。

当日は、来場者的にちょっと厳しいものがあつたが、広報的には打てることは全部やって

おり、あと何が足りないのかと毎年、考えるところであり、検討・精査していきたいと思う。

2階の展示物についても、確かに今言われる通り、あそこまで引っ張り上げるということについて、もう少し工夫が必要であったと思う。講演会や映画を見られてそのまま帰られ、1階の目につくところは見てくれるっていう方はあのたくさん見えたが、そこから一階上がらなくてはいけないことについては、文化会館の構造もあるが、今後工夫していく。

(田中副会長)

いい展示のため残念だなと思ったため、お願いいたしたい。

(南川委員)

職員研修について、前回の時に、職員研修の時もアンケートを取っていただいていたと思う。

その時に、研修を受ける前と後で、どのように意識が変わったかなどの意見も見られると良いという話をさせてもらったと記憶している。

今回、職員研修の資料や報告のところにも、こちらのアンケートにこう感じたという意識に関しては、少し薄い感じがしたので、その辺の取り扱いについて伺いたい。

(事務局)

復命書ということで、その講義を受けた感想や気づきを得たことについて報告をいただいている。ただ、復命書という形になるので、最初に何かを聞き、田中委員から言われている部分があるが、受けたらどう変わるかというところまでは、まだできていない。

また、設問の設定の仕方として、かなり難しいものがあるのかなということも思っている。

皆さんそれぞれのことを感じるので、質問に対しての受け答えになると、本来思っていたことが、表現できていないような部分もあるのではないかと考えている。

(南川委員)

最近、市役所の窓口に来ても皆さん優しくて、研修が活かされているのかと思った。

(田中副会長)

西村さんが言われたような、最後にアンケートを取ったり、インターネットで感想をもらったりするには、どこにいても、聞いたときに1枚の紙でパパッと書いていくのは書きやすいと思う。後で申し込む時に携帯ですることを億劫に感じたり、もうしないほうがいいかなと思ったりするので、配布物に挟んだほうが、もっと集めやすく、取りやすいと思う。

今まで行ったところでも、ほぼそういう設問して紙1枚に書いてもらうことが多いから、その方がいいのではないかなと思うがどうか。

(事務局)

今回、実験的に行った部分も実はあり、皆さんスマートフォンを持っている方が多いので、

変更してみた結果、このような結果だった。田中委員のおっしゃる通り、やはり書く方が皆さん答えやすいのではないかとこの認識なので、来年については対応を検討していきたい。

(伊藤会長)

他の方いかがか。では、私から1つ質問いたしたい。

人権ふれあい劇場が新しい方法で募集をかけたということについて伺いたい。4ページの中ほどの総括に、定員1,200人を超える1,343人の申し込みがあった。当日は1,015人の方が来場。300人くらい、空席ができたと思われるが、空席がある分、当日受付をしたのか、それはできないのか。

(事務局)

キャンセルをされる方については、前日までにご連絡くださいという一文を添えて、入場券を送っている。連絡いただいた分については、キャンセル分として、キャンセル待ちの方に連絡して来ていただき、配布している。

それ以外の方については、来場されるかどうか分からないので、連絡をすることができず、蓋開けたら来ていなかったという状況である。

(伊藤会長)

その辺はうまい方法を何か考えているか。

(事務局)

これはもうどうしようもないと思う。

(喜田委員)

私、いろいろ関わってきて、こういう無料のものは大体、七掛けから八掛けって言って、そのぐらいしか来ない。そこを前提にしないといけないので、残念ながら努力されても厳しい気はする。そのため、これだけ来たら、「まあ、よしとしなきゃな」という部分があるので、私たちも、こんなに多いのにいらっしゃらなかった方には申し訳ない、来てもらえればよかったのと思うかもしれないが、残念ながら、この点に関しては、無理だと思う。

いろんなイベントされた方は、経験されていると思うが、入場料を払ってもいらっしゃらない方はいるため、9割みえたらいいというのが相場じゃないかと思うが、いかがか。

(伊藤会長)

1,343人の申し込みがあったため、なにか別の方法を検討してもいいのではないかと思います。

(吉原委員)

先程のアンケート結果データ集のこともよろしいか。残念ながら行けなかったが、3ページの1、2、3の虹色サンゴアンケートで目につくのが、「音量が大きすぎる」、「耳にガ

ンガン響いてくる」という意見が非常に多くみられる。小学生、若い方だけでなく、年配の方でも同じような意見がある。事務局の方も現場にいたと思うが、どうだったか。音量が大きかったと思われたか。

(事務局)

当日、前方の出入口を担当していた際、前の方となるとマイクの音量プラス劇団の方自体の声も「わっ」と迫力をつけて言われるので、ちょうどいいかと言われると、「もしかしたらこれは・・・」と感じたところではある。ただ、後ろの方のことを考えると、どうなのかなというのもあり、ちょっと心苦しいところではある。来年度以降、劇団の方にはこのようなご意見があったことはフィードバックして、何とかできないかという相談はしていこうと考えている。

(吉原委員)

音響というのはすごく大事であり、私も30年ほど劇団員経験があり、この間、デイサービスに行ったが、必ず施設の方にこの音量でいいかということは確認している。確認後、スタートしたにもかかわらず、施設の方が音量を下げていたりする。我々演じる側にしても、自分たちに聞こえたほうがよいので、つい音量を上げてしまう。そのため、替えのスピーカーを置いていたりする。こういう劇団の方は慣れていらっしゃると思うが、こういうことがあったということをお伝えいただくといいと思う。

(伊藤会長)

ほかの方はよろしいか。それでは、令和6年度人権啓発事業実施状況について、ご報告いただいた。

次に当初の事項書に従い、一番下の「3.その他」になる。

(事務局)

令和7年度のことになるが、第一回の審議会について、5月を予定している。候補日が複数あるため、4月に入り次第、皆様と調整をさせていただきたいと考えている。

(伊藤会長)

事項書に記載されているところは以上だが、その他に連絡事項はあるか。

(伊藤会長)

以上をもって、本日の議事は終了する。

閉会